



立て心よ 行け私よ

No.10

文責:齊藤 正一

令和4年度 全国学力・学習状況調査結果の分析と考察

4月に全国一斉に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果について、本校3学年生徒の傾向と、それを受けての改善の方向をお知らせします。調査結果の分析に基づいた本校生徒の学力の傾向をつかみ、日々の教育活動や今後の具体的な取り組みについて検討して、改善に役立てたいと考えております。

全体としては、国語・数学・理科ともに、平均正答率が、全国平均を下回っています。墨坂中学校のランドデザインでお示した【評価指標】「正答率全国比-3%以内」を達成することはできませんでした。以下、各教科における課題とその対策、生徒質問用紙から見える本校生徒の学習の傾向について掲載いたします。ご家庭でも、参考にさせていただきますと幸いです。

【調査の対象者と内容】

調査日 令和4年4月19日(火)

調査内容 国語・数学・理科

生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

教科に関する調査結果の概要

調査内容	教科別 平均正答率	考察及び対策
国語	全国平均を下回る	<p>課題①:「適切なものを選択する」選択問題は比較的正答率が高くなりました。しかし、文章の中に用いられている表現技法の名称を答えたり、同じ表現技法が使われているものを選択したりする問題など、基礎的な知識を問う問題でも正答率が低くなった問題があります。</p> <p>対策①⇒授業1時間の中で、確実に身につけたい基礎的・基本的な内容を明確にして授業を行います。また、授業の終末においては、その時間に身につけたい力がついたのかを確認する場を設けるとともに、授業と関連した家庭学習を課し、基礎的・基本的な知識の定着を図ります。</p> <p>課題②:「スピーチの一部を呼びかけたり問いかけたりする表現に直す」など、記述式の問題や書くことに関する問題の正答率が低くなりました。書くことについての知識の定着が不足していたり、表現技法を用いて効果的に書いたりすることに課題があります。</p> <p>対策②⇒書くことの取り立て指導だけではなく、読むことの学習の中にも書くことを取り入れるなど、国語科の学習の様々な場面で書く活動を行うようにします。特に、条件や意図を明確にして書く学習を繰り返し行います。書いて終わりにするのではなく、書いたものを自己評価したり、相互評価したりして、成果と課題が次の各活動に生きるようにします。</p>

調査内容	教科別 平均正答率	考察及び対策
数学	全国平均を下回る	<p>課題③:素因数分解、連立二元一次方程式、関数など、基礎的・基本的な知識・技能が十分に身につけていない傾向にあります。</p> <p>対策③⇒基礎基本の定着のために、ドリル学習等で補うようにします。また、正しい知識・技能を確実に身につけるために、教師が一方的に教えるだけでなく、学んだことを生徒がまとめたり、記述したりすることが習慣的に行えるようにしていきます。</p> <p>課題④:「ある予想がいつでも成り立つかどうかを示すことについて、正しく述べたものを選ぶ」、「目標の300kgを達成するまでの日数を求める方法を説明する」といった、予想を立てて説明したり、説明した事柄を振り返ってあらたに数理を見出したりすることに課題があることがわかりました。</p> <p>対策④⇒説明の見通しや参考になる考えがあると、説明や証明の記述が書ける傾向があるため、日々の授業でも、参考になる考えを示しながら、生徒自身が予想を立てたり、生徒自ら説明したりする場面を増やしていきます。</p>
理科	全国平均を下回る	<p>課題⑤:生徒質問紙の回答から、本校生徒は、実験に主体的に取り組み、考察を自分の言葉で書き、授業の振り返りができていることがわかります。しかし、実験や考察を振り返り、それが適切であるか判断したり、その理由を説明したりする問題の正答率が特に低くなる傾向がみられました。</p> <p>対策⑤⇒これからも、実験観察など、自然現象と関わる授業を続けていきます。その中で、自分の言葉で書いて説明する機会をさらに多く設け、自然界の法則を理解できるように工夫をしていきます。</p> <p>課題⑥:「適切な天気図を選択する」など正答率が全国平均を上回る問題もありましたが、多くの問題で、わずかずつですが、全国や県の平均正答率を下回っており、既習内容の定着に課題がみられます。また、全体の正答率を見ると、上位4分の1に含まれる生徒の割合が低く、下位4分の1に含まれる生徒の割合が高くなっています。</p> <p>対策⑥⇒既習内容を定着させるための授業の工夫をしていきます。単元テストを活用し、理解が不十分なところの確認・確認をていねいに行ったり、計算を含む問題など習熟を必要とする内容については、ドリルを繰り返し行ったりして、学習したことの定着を図ります。</p>

生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査の結果概要

(学習意欲や学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査です)

問題解決力	<p>「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか」「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか」という問いに対して、県平均、全国平均を上回る肯定的な回答がありました。このことから、本校生徒は、物事を進めるときに、最後までやり遂げようとしていることがわかります。</p>
-------	---

他者関係力	<p>「人が困っているときは、進んで助けていますか」「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」という問いに対して、県平均、全国平均を上回る肯定的な回答がありました。生徒は、他者と関わりながらも困難なことや不安を乗り越えようとしていることがわかります。</p> <p>また、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。」という質問に対しても9割以上の生徒が、「当てはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答しています。この結果から、教職員からだけでなく、家庭や地域でも、自分のよさを認められていること、また、認められるだけでなく、他者のよさを認めることができることも推察されます。自他を肯定的に認めることのできる環境で健やかに育っている本校生徒の姿が伺えます。</p>
自己更新力	<p>「自分にはよいところがある」、「将来の夢や目標を持っていますか」という問いに対して、県平均、全国平均を上回る肯定的な回答がありました。生徒は、自分自身のよさを認め、目標をもって学校生活を送ることができていることがわかります。</p>
ICT 機器の利活用	<p>ICTの活用に関する質問に対して、ほぼすべての項目で、県平均、全国平均を大きく上回る肯定的な回答がありました。須坂市 ICT 推進モデル校として情報担当の職員を中心とした各教科や研究グループでの取り組みが成果につながっていると云えます。</p>
学習の充実に向けて	<p>「各教科が好きかどうか」の質問では、どの教科も肯定的な回答は、県平均、全国平均を下回っています。「授業の内容がよくわかるか」という質問に対しても同様です。生徒一人ひとりが確かな学力を身につけていくために、これまで本校が進めてきた、「問い」や「願い」のある授業のさらなる具現化を目指し、生徒が主体的に学びに向かえるようにしてまいります。</p>

墨坂中学校生徒会 新執行部発足

11月15日に生徒会正副会長選挙が行われ、これからの生徒会活動を先頭に立ってリードする新三役が決まりました。また、次期生徒会長から指名され、校長先生から任命された、各委員会の正副委員長など新執行部のみなさんが、12月13日の生徒総会で紹介されました。

今年も新型コロナウイルス感染症対策のために、制約の多い中でしたが、工夫を凝らした活動やSDGsを意識した取り組みなど、今年しかできない生徒会活動が活発に行われました。3年生を中心に生徒会活動を盛り上げてくれた全校生徒のみなさん、ありがとうございました。

1月からは1・2年生が中心になって墨坂中学校を創っていきます。2年生は、役員であるかどうかにかかわらず学年全員で生徒会を引き継ぎ、学校をリードする立場となります。2学年全体が一つのチームとなって、新しい年度の生徒会活動を、さらに発展させてくれることを期待しています。1年生の中には、今回の選挙・引継を通して、「次は自分たちが引き継ぐ番だ」という思いをもった人がたくさんいるようです。これからの1年間の活動が、自分たちの代の生徒会活動のより良い準備期間になるようにしたいですね。

3学期は、新年度の0学期とも言われます。今年度のまとめの時であるとともに、新年度への準備期間でもあります。どの学年も、それぞれの春に向けて、より良い助走をしていきましょう。



～あなたの悩み LINE で相談～

LINE 相談窓口「ひとりで悩まないで@長野」 を実施します

- 相談期間 令和4年4月1日から令和5年3月31日までの
毎週水曜日と次の期間の日曜日（4/10～5/1、7・8・9・1月）
- 受付時間 18時～21時（相談終了21時30分）

下記の期間は、大学生等が悩みを聴くピア・デイを実施します。
7・8・9月の毎水曜日
受付時間 18時～20時（相談終了20時30分）

○対象者（相談できる人）

長野県に在住し、次の県内の学校に在籍する中・高校生

〔 中学校、義務教育学校後期課程、中等教育学校、高等学校、
特別支援学校中等部・高等部、専修学校高等課程等 〕

○相談方法

下のQRコード、または友だち追加用URLで「友だち登録」をしてから相談してください。

友だち追加用URL：<https://lin.ee/nB0SaYu>



長野県PRキャラクター

「アルクマ」©長野県アルクマ

※令和3年度のQRコードは使えません。あらためて友だち登録してください。

〔 あなたの相談内容やプライバシーは守られます。ただし、あなたの生命や身体等の安全が
害される恐れがある場合は、関係機関に連絡する場合があります。 〕

※LINE相談以外でも下記の窓口で相談を受付けていますので、ご利用ください。

- 学校生活相談センター なやみおう 0120-0-78310（24時間受付）
☒ gakko-sodan@pref.nagano.lg.jp
- 子ども支援センター（子ども専用ダイヤル）0800-800-8035
☒ kodomo-shien@pref.nagano.lg.jp

長野県教育委員会